

# LIVRE

リーヴル

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学  
図書館報  
2023春号 No.37

## おすすめ図書紹介

### パラドックス13



東野圭吾 著  
講談社文庫

初めて「一度読み始めたら止まらない」と実感した小説でした。

この小説のお話は、日米共同研究により、P-13現象という日本時間3月13日午後1時13分13秒から13秒間、予測できない何かで地球で起きる事が総理へと伝えられるところから始まります。専門家の話を聞くところによると、何か起きるが人々は実感出来ない、歴史に関わる事が13秒の間に起きてしまうとうなるか

分からないという事でした。混乱を防ぐため国民へは伝えず、事故や事件が何も起きないように国で徹底する事となりましたが、突然人間がいなくなる異常現象が起き、なぜか複数の男女のみが地球上に残されてしまいました。そこから様々な危険や人間関係の衝突を乗り越えて、必死に生き抜いていこうとします。

絶望的な状況下で描かれる人間ドラマはとも面白く、読んだら絶対にハマる一冊です。是非、読んでみて下さい。

体育学部3年 佐藤 晏称



## 母性

「母親には誰しも母性が備わっている」そんな考えを覆される、ミステリアスで深い物語でした。この本は女子高生が自宅の中庭で倒れているのが発見されたことから始まります。その母親は「愛能う限り、大切に育ててきた娘がこんなことになるなんて。」と言葉を詰まらせながら話します。これは事故か、自殺か。なぜこうなってしまったのか「母親の手記」と「娘の回想」が交互に展開されながら真相に迫っていくお話です。同じ場面でも語り手が母親か娘か異なるだけで読み手である私の捉え方も変わっていききました。

映画化されたことを機に手軽な気持ちでこの本を手に取りましたが、読み終えると想像以上に「母親とは?」「親子とは?」「愛とは?」と様々なことについて考えさせられました。もう一度丁寧に読み直したいと思えた1冊です。



湊かなえ 著  
新潮文庫

児童教育学科2年 山崎 杏佳

## DVD紹介

### Coda コーダ あいのうた

主人公は高校生の女の子ルビー、両親と兄は耳が聞こえず、ルビーだけが耳が聞こえるため、幼い頃から家族の通訳となり家業の漁業を手伝っています。早朝からの漁の手伝いで、授業中に居眠りをしてしまうことも。

秘かに憧れているクラスメイトのマイルズと同じ合唱の授業を選択したことから、先生がルビーの歌の才能に気付き、名門音楽大学への進学を強く勧めます。しかし、それは家族の通訳や家業を放棄することに。さらに、両親はルビーの才能を信じられず、大反対。ルビーは家族への愛と、自分の夢との間で葛藤します。



監督:シアン・ヘダー  
販売元:ギャガ

母との関係、周囲からの偏見、貧困、ヤングケアラーの問題などありますが、明るくユーモラスなタッチで描かれています。ジョニ・ミッチェルの『青春の光と影』やデビッド・ボウイの『スターマン』など、劇中で流れる曲も魅力的です。

新しい一歩を踏み出す勇気をもらえる映画です。

図書館事務室 大浦 京子

## 図書館カレンダー

状況により、変更する場合があります。

9:00~13:00	9:00~14:00	9:00~16:00	9:00~17:00
9:00~19:00	9:00~20:00	終日閉館	未定

2023年 4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2023年 5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2023年 6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2023年 7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2023年 8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2023年 9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

編集・発行：東京女子体育大学・東京女子体育短期大学  
図書館運営委員会  
東京都国立市富士見台4-30-1 TEL.042-572-4131

春の鳥 な鳴きと鳴きと あかあかと 外の面の草に 日の入る夕べ  
清水へ 祇園をよぎる 桜月夜 こよひ逢つ人 みなうつくしき  
くれなるの 一尺伸びたる 薔薇の芽の 針やはらかに 春雨のふる  
北原白秋  
与謝野晶子  
正岡子規



1 貧困をなくそう



## SDGs目標1 貧困をなくそう

### 世界の子どもたちに今おきていること The Children In the World Now

「子ども時代」とは、大人の愛情を受け、大人に守られ、のびのびと遊び、多くのことを学んで成長する時代です。しかし、世界には、貧困や紛争によってこの大切な時代を保障されない子どもたちが数百万人います。その多くが開発途上国と言われる国にいます。世界の子どもの人口は22億人、貧困下で暮らす子どもは10億人。開発途上国で学校に一度も行ったことがない子どもは1億4千万人以上。2004年に日本で生まれた子どもの平均余命82歳、2004年にザンビアで生まれた子どもの平均余命38歳。このように、この本は「数字」によって世界の子どもたちの現状を私たちに突きつけます。

まずは、現実を「知る」ことから始めましょう。この本は手に取りやすく、1ページめくるだけで「知る」きっかけを与えてくれます。そして、次に「考える」のです。大人になった私たちは、子どもたちのために何ができるのか。

藤坂 由美子



絵：葉 祥明 文・  
構成：石原 尚子  
対訳：リチャード・  
サドウスキー  
きこ書房

## SDGs 関連資料紹介

図書館では皆さんの研究及び学習のために館内に「SDGsコーナー」を設けています。資料を多数用意していますので活用してください。

今回はその一部を図書館運営委員の先生方に紹介させていただきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

11 住み続けられるまちづくりを



## SDGs目標11 住み続けられるまちづくりを

### 障がいのある子の安全教育と対策 —防災・防犯・交通安全・事故予防—

いつ巻き込まれるかわからない災害や事故に少しでも対処するため、日頃の備えと安全教育があります。では、障がいのある子にとって、これらの現状は、どうなっているのでしょうか。

障がいのある人はそうでない人に比べて災害・事故などの際にかかる負担が大きく、死亡率も高くなっています。また、一言で「障がい」といってもその特性はさまざまであり、必要な配慮や対応はそれぞれに異なります。本書では、これらについての必要な知識と対応を具体的に

わかりやすく紹介しています。

本書を通して障がいのある子への安全対策を知ることで、私たちの心に余裕が生まれます。その余裕が人へ穏やかな温かさを提供し、「誰一人取り残さないまちづくり」につながるのではないかと思います。

田島 真沙美



宮田 美恵子・  
堀 清和 監著  
晃洋書房

10 人や国の不平等をなくそう



## SDGs目標10 人や国の不平等をなくそう

### ソーシャル・キャピタル入門 孤立から絆へ

みなさんは、ソーシャル・キャピタルという言葉を知ったことはありますか？日本語では社会関係資本と呼ばれており、本書では、人々が他人に対して抱く「信頼」、持ちつ持たれつといった言葉に象徴される「互酬性の規範」、人や組織の間の「ネットワーク（絆）」であると定義されています。そして、日本においてこの社会関係資本の厚みが、見事に示されたのが2011年の東日本大震災であると、筆者は指摘しています。

また、社会関係資本は、教育に影響を与えることが実証されています。例えば、「学級内の社会関係資本には学業成績と退学抑制の効果がある」とか、「社会関係資本が豊かな地域での不登校率は低い」ということが明らかにされてきました。

みなさんも、社会が何によって動かされているかに気づき、「孤立から絆へ」のきっかけとして、この本を読んでみませんか。

古川 和人



秋葉 陽二 著  
中公新書

12 つくる責任 つかう責任



## SDGs目標12 つくる責任つかう責任

### もったいないばあさん

作者真珠まりこさんが息子さんに「もったいない」とは？と質問され、そこから絵本を創作していった「もったいないばあさん」。もともと仏教の言葉からきている「もったいない」。もったいないばあさんは、実にインパクトを持ったキャラクターです。2004年発行の本作以降、暮らしの衣食住の中や、環境にかかわる話、いのちの大切さや世界の平和など、様々な問題提起をしてシリーズが続々と発行され、6か国語でアニメ化もされ、子どもへのメッセージが届けられています。この間にMOTTAINAIが世界の共通語になったり、SDGsが提唱されたりしています。

「もったいない」をキーワードにして、諸問題を自分事としながら、しかも遊び心をもって、子どもに働きかけているもったいないばあさん。出発点の本作及びシリーズを読まないのは「もったいない」。

真珠まりこ 作・絵  
講談社

村石 理恵子



真珠まりこ 作・絵  
講談社

16 平和と公正をすべての人に



## SDGs目標16 平和と公正をすべての人に

### 難民問題 イスラム圏の動揺、EUの苦悩、日本の課題

難民は昔から存在します。例えば、紀元前70年、ローマに敗れたユダヤ人はエルサレムを離れて難民になりました。シリアでは西暦636年、イスラム勢力に降伏した国民が難民となりました。第一次世界大戦後は帝国が崩壊し、多くの難民が生まれました。そして難民問題は今日に至ります。戦争だけでなく異常気象による災害も要因となっています。

難民問題は人道問題です。人々の生活が破壊され、尊い命が失われます。現在、各国は難民問題に真摯に取り組んでいますが、その枠組みは概ね地域レベルです。思想、宗教、習慣などの異なる難民を受け入れることは容易ではありません。日本の対応も微妙です。本書は難民問題を、人道主義と難民を受け入れる社会の悩みという両方の視点から論じています。難民問題の本質について知ることができる優れた書です。

田中 洋一



轟田桂著  
中公新書